

ミニディスクロージャー誌 2025.9

MINI DISCLOSURE

香川銀行の「^{いま}現在」をお届けします。



第19次経営計画（令和5年4月～令和8年3月）

5つの基本戦略で 地域・お客さまを 元気にする。

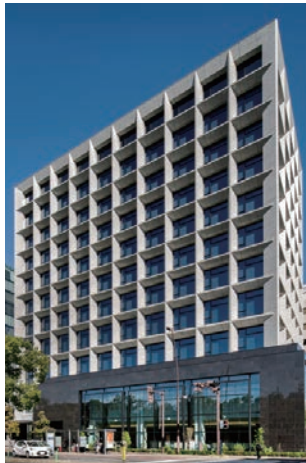


イメージキャラクター ダグ

Plan VSI「Value」&「Speed」&「Inspire」～付加価値とスピードで感動を届ける～

- | | | | | |
|--|---|---|---|--|
| <p>I サステナビリティ戦略
社会課題の解決
社会貢献活動の推進</p> | <p>II ガバナンス戦略
健全な企業経営
強固な管理・統制体制</p> | <p>III 営業戦略
経営資源の適正配置
コンサル増強
調達力強化</p> | <p>IV オペレーション戦略
営業店を「事務」から
「営業」の場へ
ローコスト経営</p> | <p>V 人財戦略
少数精鋭態勢
「働きがい」醸成</p> |
|--|---|---|---|--|

香川銀行



設立日
昭和18年2月1日

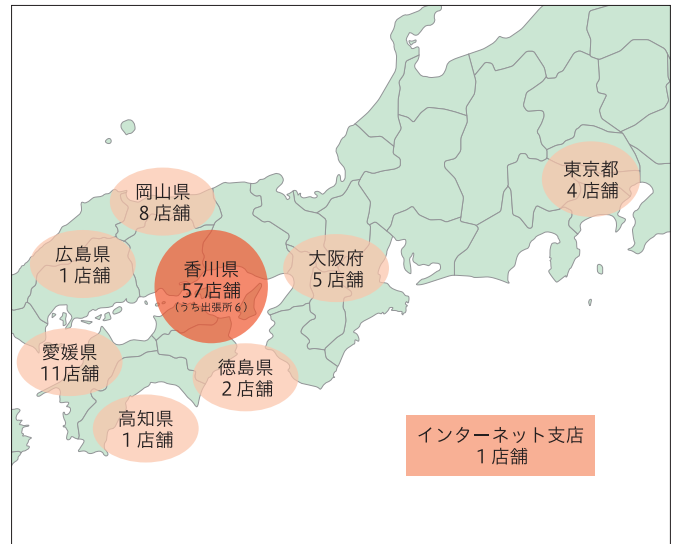
所在地
香川県高松市亀井町6番地1

資本金
141億円

店舗数
90店舗（うち出張所6店舗）

従業員数
968名

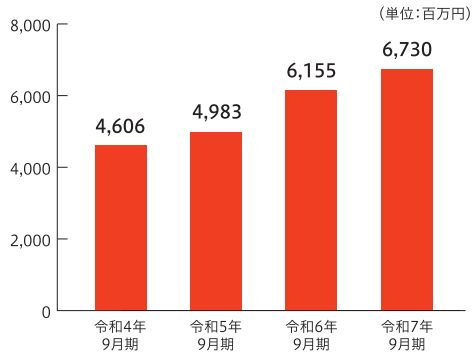
主たる営業基盤
香川県を中心とした四国地区、
岡山県、広島県、大阪府、東京都



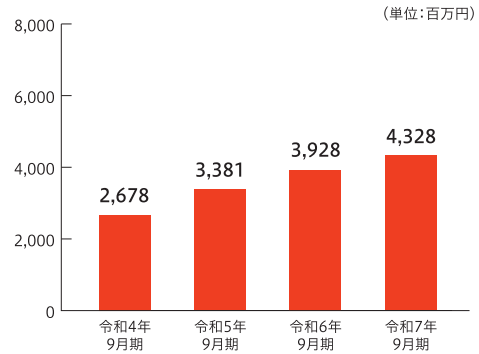
業績ハイライト

業績の概要(単体)

コア業務純益



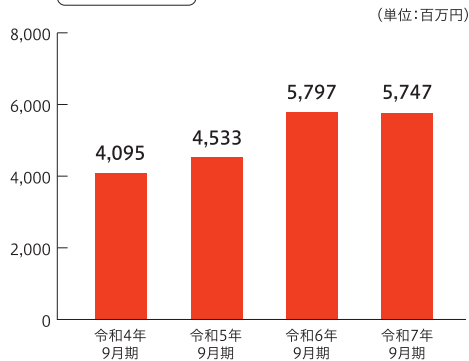
本業利益(外貨調達コスト控除後)



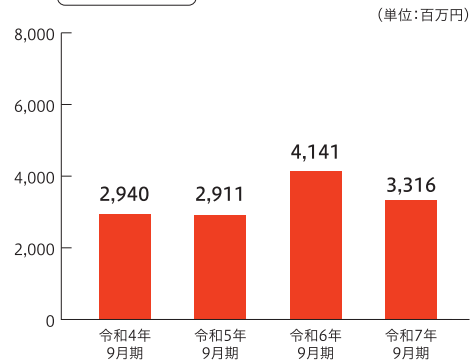
○銀行の本業の収益を示すコア業務純益は、貸出金利息、役務取引等収益及び株式等売却益が増加したことにより、前年同期比575百万円増加して、6,730百万円となりました。

○本業利益(外貨調達コスト控除後)は、前年同期比400百万円増加して、4,328百万円となりました。

経常利益



中間純利益

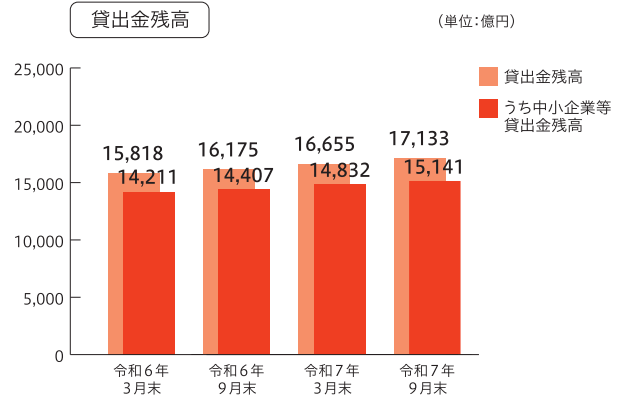
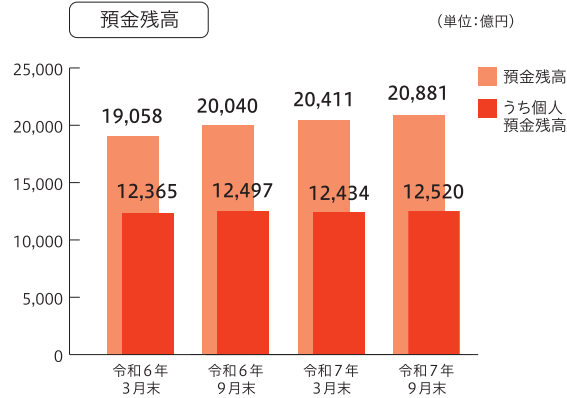


○経常利益は、与信関連費用が増加したことから、前年同期比50百万円減少して5,747百万円となりました。

○中間純利益は、法人税等の増加により前年同期比825百万円減少して3,316百万円となりました。

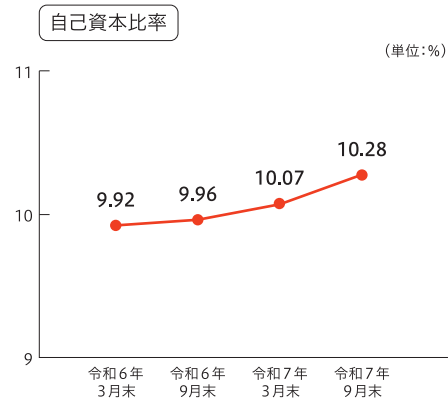
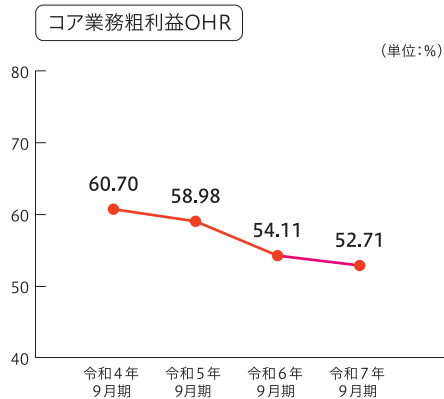
業績ハイライト

営業の概要(単体)



○個人・法人預金が順調に増加したことにより、預金残高は前期末比469億円増加して2兆881億円となりました。

○中小企業及び個人向け貸出等に積極的に取り組んだ結果、貸出金残高は前期末比477億円増加して1兆7,133億円となりました。



○経営効率化の指標であるコア業務粗利益OHRは、52.71%となりました。

○経営の健全性を示す自己資本比率は、10.28%となりました。国内のみで営業する銀行に義務付けられた国内基準の4%のみならず、国際統一基準の8%を上回っており、健全な経営体質を維持しています。

TOPICS 1

シップファイナンス室を新設！ ～船舶分野への取組みを強化～

令和7年6月、海運業及び地域経済のさらなる発展を支援するため、融資部内にシップファイナンス室を新設しました。円安を背景に近年需要が高まっている船舶融資について、当室の開設により審査や管理方法の高度化を図ります。

また、長年船舶業界に携わってきた経験豊富な行員や、外部出向で専門知識を習得した行員を配置し、より専門的かつきめ細やかなサポートを提供できる体制を整えております。



TOPICS 2

地域の人手不足解消をサポート 「外国人材紹介業務」の取組み

少子高齢化により、人手不足が深刻化する中で、当行では令和7年3月より「特定外国人材紹介業務」を開始しています。この取り組みは、インドネシア政府認定人材送り出し機関（PT Jaya Indonesia Pandu Abhipraya）との間で、同国外国人材職業紹介申込取次に関する契約を締結したものです。

四国の地方銀行では初めての取組みとして注目を集め、開始後、多くの取引先からお問い合わせをいただいております。

特定技能外国人紹介開始に先立ち、昨年11月にはインドネシア・ソロシティにおいて介護分野の採用面接会を実施し、本年8月には面接会で採用された12名の外国人材が入国し、各配属施設において業務に取り組んでいます。



現地面接会の様子



TOPICS 3

商店街沿いの店舗を有効活用し、地域活性化へ

・多彩なイベントを開催「兵庫町テラス」

兵庫町支店内に設置した多目的スペース「兵庫町テラス（略称）」では、地域PR情報の掲示や希望のお客さまには商品展示・販売の場として広くご利用いただいています。地域の皆様からは開催イベントへの高評価をいただき、販売者様にとっては新規顧客開拓やマーケティング活動の場としても活用されています。

・地域の魅力を発信「南新町5番地ATMコーナー」

ATMコーナー内には、香川県内の全自治体や観光協会から提供された観光ポスターを掲示しています。また、近年増加している観光客に向けて、観光案内パンフレットなども設置し、訪れる方々がより香川県を楽しめるよう地域の魅力発信に貢献しています。



兵庫町テラスでは令和5年のオープンから
100回を超えるイベントを開催

TOPICS 4

子ども食堂へ63万円を寄付しました

令和7年7月、当行は「地域・お客さまを元気にする定期預金」第3弾の預入額の0.002%相当額、63万円を香川県社会福祉協議会に寄付いたしました。これにより、令和6年4月から開始した同定期預金シリーズによる寄付金の累計は2回で163万円となりました。

寄付金は香川県内の子ども食堂の支援や、子どもたちが健やかに成長できる環境づくりに活用されています。

当行は今後も地域の皆さまに寄り添い、元気を届ける商品展開を進めてまいります。



TOPICS 5

ハンドボールチーム 「香川銀行GiraSol kagawa (シラソル)」 国スポ県勢初優勝！



創部30年を超える歴史を持つシラソルは、令和7年10月に開催された第79回国民スポーツ大会に香川県代表として出場し、香川県勢初の優勝を果たし、日本一に輝きました。

また、チームは子どもたちに向けたハンドボール教室開催や地域のイベントに積極的に参加し、スポーツを通して地域に元気を届けています。



TOPICS 6

子どもたちの豊かな未来をサポートする (公財) 香川銀行青少年育成支援財団の取組み

当財団は、平成元年に香川銀行が普通銀行に転換したことを記念して、地域貢献活動の一環として設立されました。国際交流、教育、スポーツ、音楽等を通じて、青少年への様々な支援を行い、地域社会の発展に寄与することを目的として活動しています。

夏休み期間中に開催した「親子SDGs教室」では、取引先にご協力いただき、ドローン操縦体験を実施しました。未来の産業を支えるテクノロジーが社会で大切な役割（農業、災害支援、物流など）を担っていることを学びました。

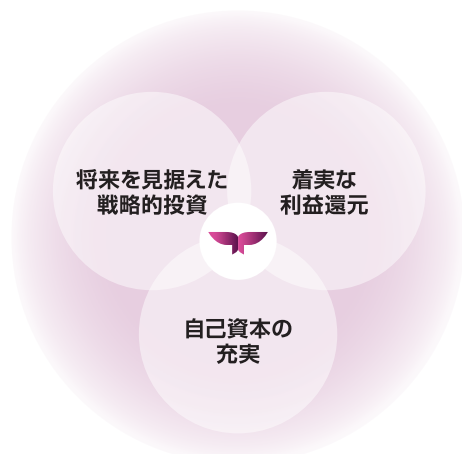


株主還元方針

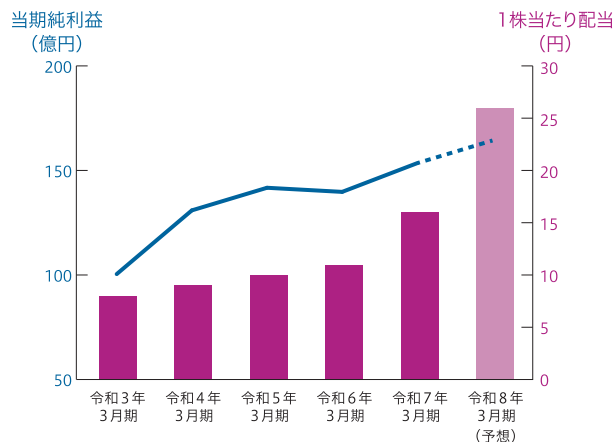
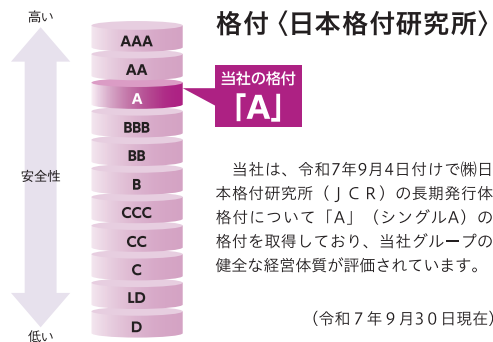
トモニホールディングスは、徳島大正銀行及び香川銀行の銀行持株会社として、東京証券取引所（プライム市場）に上場しています。



徳島大正銀行 | 香川銀行



トモニホールディングスは、利益の状況や自己資本の状況等を踏まえつつ配当水準の安定維持に努め、安定のかつ持続的な株主還元を目指しています。



令和8年3月期通期の当期純利益は、順調な本業利益に加え、有価証券関係利益の計上等により第5次経営計画の目標（148億円）を上回り、過去最高益（経営統合に伴う負ののれん発生益を除く。）165億円を計上する見通しであり、年間配当も1株あたり26円を予定しています。

株式に関する情報はこちら



トモニホールディングス 株式会社

香川県高松市亀井町7番地1 TEL (087) 812-0102 <https://www.tomony-hd.co.jp/>

株式会社 徳島大正銀行

徳島県徳島市富田浜1丁目41番地 TEL (088) 623-3111 <https://www.tokugin.co.jp/>

株式会社 香川銀行

香川県高松市亀井町6番地1 TEL (087) 861-3121 <https://www.kagawabank.co.jp/>

発行／令和7年12月

- 本誌は令和7年11月11日発表の決算短信に基づいて作成しています。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

この印刷物は大豆インキで印刷しています。

